

木地区公民館だより

宝木四 山根 久弥
晴れた空

宝木三 立肥 瑞穂
お正月

ほうぎんー みよしはるか
ことし

宝木四 初田 恵一郎
晴れた空

宝木三 角谷 充代
お正月

ほうぎんー ぐまね こうま
ことし

宝木五 角谷 英子
心に太陽

宝木一 藤原 奈瑛
晴れた空

宝木三 野間 彩加
お正月

ほうぎんー はつた なつき
ことし

地区公民館の今後のあり方

パート二〇〇八年

公民館長 吉田 亨



あけましておめでとござい
ます。皆様お健やかに新しい
年をお迎えの事と存じます。

公民館活動も皆様の温かい
ご協力、ご支援により順調に進
めることができました。心より
お礼申しあげます。

昨年十一月二十七日、「地
区公民館の活用策と今後のあ
り方について」中間まとめの説
明会が気高町総合支所で開催
されました。

鳥取市が示した「中間まとめ
」の今後の方向性は、地区公民
館を生涯学習並びに地域コミ
ュニティの拠点施設として、地
域住民が主体的に施設を運営
し、活発に利用する仕組みと制
度を構築するというものです。

そのためには公民館の役割
を、地域住民の学習活動の場と
して整え、地域の特性を活かし
た特色ある事業を企画し展開
するにはどのようなふうにするか

のか、また「コミュニティ活動の
拠点施設として、地区民、団体
の活動の場にするため具体的に
に検討する。

さらに自分たちのまわりの、
どのような地域課題があるか
を地域住民の視点で検討し、地
域をより良いものにしていく
ために各地区公民館単位で自
治会、各種団体、地域住民で構
成する「まちづくり協議会(仮
称)」の組織づくりに向けた取
り組みが平成二十年度より始
まります。

宝木地区公民館におきまし
ても、地域住民、自治会、各種
団体がお互いに連携・協力しな
がら「まちづくり協議会(仮
称)」を組織化に向け取り組み
たいと思いますので、皆様の一
層の協力を宜しくお願いしま
す。

小宮秋野先生の子どもを抱きかかえるようにしての指導に

全員立派に書く事ができました

わくわく書き初め大会

宝小5年 角谷 英子

私は、一月五日に公民館事業の「わくわく書き初め大会」に参加してきれいな字が書けました。始めは、「はね・とめ・はらい」が全ぜんできなくて困っていたら、先生がていねいに教えてくださって、「二枚目を書いたらきれいに書いて良かったです。直されたところは」

心に太陽の心と陽です。気をつけて書いてみたらその字を克服できて良かったです。

書いているうちにだんだん楽しくなって、習字が好きになって良かった。みんなも上手に書いて「すごい!」と思ったし、自分のも結構満足の出来だったので、これからも習字を頑張りたいと思います。

また来年も書き初め大会があったら参加したいです。



上手に書いて本当にうれしかったです。



環境視察

岡田 幸子

九月と言いますのに三十一度を越す夏空の日の研修でしたが、命を守る水の事なのでワクワクしての参加でした。

まず水道局。鳥取市の水道に関する仕事がなされているところ。ここでは各家庭へ給水されるまでの事、水道の歴史等の説明を受けました。水は千代川の伏流水(川底3m下の砂利の中の水)を集水管で集め、飲める状態にして、配水池を通り家庭へ給水されるとの事でした。

水道局の方の案内で、今年六

月国の重要文化財に指定された「旧美敷水源地水道施設」へ行き、国府町職員の方の説明を受けました。通常は入れない水源地に入れていただき有難かったです。大正四年土堰が完成し初めての水道ができました。洪水で決壊しまた復旧させて昭和五十三年まで使用していたそうです。ろ過池、調整井、堰堤が残っていました。

次は殿ダムの工事事務所を訪ね屋敷後詳しく説明(作る目的・事業内容・建設概要等)を受け、現場へと向かいました。「わっっ!すごいなあ!」と思うと同時に、そこに住んでいた人は?自然は?建物は?と考



えさせられて

しまいました。原風景が

をどでかい重機でしてしまいました。でも市民にとって、色々な観点から必要なダムなのでしようね。

後日「殿ダム展」へ行った時、写真を見ながら「ここが生まれた家だけと今は無いだが。」初老の方の声が耳に入りさびしい気持ちになってしまいました。

書きつくせないほどの知識を得ることが出来、命を守る水について考えさせられることが多々あった研修でした。蛇口を回すと出る水、多くの人たちのおかげであるのだと、感謝し大切にしたいものです。

牧場体験



山根 祥子

十月二十日に行われた大山での牧場体験に、親子四人で参加させていただきました。

子供達にとっては初めての大山ということで、何日も前からワクワクしている様子でした。

当日、冷たい風のなか、十組二十八人の親子がバスに乗っ



工場内はとても清潔感があり、そこで出していたシュークリー

て出発しました。到着後、まずは牛についての話を聞き、そのあと早速、牧場へ案内されました。牛を間近で見るのは初めてで、とても迫力がありました。小雨が降る寒いなか、おそろのおそろの乳しぼりでしたが、子供達の小さな手から乳が出たときは、とても嬉しそうでした。聴診器を使って、心音も聞かせていただきました。餌やりは「臭い、臭い」と言っていた子供達でしたが、そのうち、夢中になって餌やりをしていました。牛たちもおいしそうに食べてくれて子供達は大満足でした。

△はとてもおいしかったです。多くの人を経て、新鮮な牛乳が作られていることがよくわかりました。盛りだくさんだったスケジュールもあつという間でしたが、牛と触れ合うという貴重な体験を親子ですることになり、とても楽しく充実した一日になりました。



健康ウォークを主催して

濱田 秀夫

十一月三日(土)文化の日、宝木地区公民館健康部と宝木地区健康づくり推進委員の共催事業として、第二回宝木地区健康ウォークを行いました。昨年参加した人七名、今年初めて参加した人七名、合計十八名で約6キロ(宝木地区公民館～河内川土手～日光～杉谷神社～日光池中道～河内川土手～宝木地区公民館)をおしゃべり

しながら各々が自分のペースで元気よく歩きました。すばらしい晴天に恵まれて河内川土手では羊たちが気持ちよさそうに寝そべっているのを見て心がなごみ、杉谷神社では石段で椎の実を拾って口にほおばりました。初田宅でトイシをお借りし、庭先に実っている甘柿をいただきました。日光池では白鳥が多数飛来しており、日光池中道で白鳥といっしょに記念写真をとりました。また高台から見下ろすと一段と白鳥たちの動きがよく見え、とてもユニークな行動に自然と口がほころびました。今回のウォークキングは歩くことを中心に計画しましたので少しハードでしたが、全員が無事に公民館へゴールすることができました。健康ウォークを主催して、あらためて運動習慣の大切さと、人と人とのふれ



あいのあたたかさを感じるとても有意義な一日でした。

フラワーアレンジメント

佐々木 里美

宝木地区文化祭に出展するため、フラワーアレンジメントを体験しました。まず器を決めますが、いろんなかわいらしいバスケットがあって、迷ってしまいました。そしてオアシスというスポンジを水に浸し、十分に水が吸い込んだら、さあ開始です。私は生け花を習っていたので、すぐに出来るわと思っていたのに、なかなか出来上がりません。今までの生け花の型にはまりすぎていたんですね。生け花は流儀や型があります。器も陶器が多く、安定感やフォーマル感があります。ところがフラワーアレンジメントは基本をおさえれば、比較的自由に、型にはまらなくて良



いのです。その自由さがかえって難しかったのです。

先生の助言を受けながら、なんとか出来上がりました。今まで経験したことのないやり方で楽しかったです。家からも気軽に出来るようなので生けてみたいと思います。そして、お花のある暮らしで、家族の気持ちも癒したり、自分自身も心ゆとりのもてる生活を送っていきたいと思います。

ホタルでジゲ興し

水田 允

奥沢見が「ほたるの里」を自称したのは貝殻節祭りに初参加し、そのシンボルが見事賞に輝き、これがきっかけで奥沢見IIホタルの図式が出来たように思う。

この度、奥沢見部落は市の募集した「自治



会活動活性化支援事業」通称(ぎらめくまちづくり事業)に応募し、平成十八・十九年度の二カ年の許可を受け事業を行

っている。

「歴史と自然を中核とした活性化」をテーマに挙げ、その事業の内容の一つに「ホタルでのジゲ興し」を組んでいる。

① ホタルの生息できる川の環境保全

・奥沢見の二つの川の清掃(三月と五月)

② ホタルを積極的に増やす活動

・休耕田を活用したビオトープ作り(予定)

・幼虫の人口飼育場作りと管理(テスト中)

ホタルを増やすにはその幼虫の餌であるカワニナを増やすこと、幼虫が蛹となる時に欠くことの出来ない土の土手があることが必要条件となる。そのため川掃除ではカワニナの保護に配慮し、河川工事の折護岸を土場のあるブロックで築く等の工夫をしている。

幼虫の人口飼育は、産卵・育成・放虫の行程で行うが、そのためにはカワニナを繁殖することが大きな難問である。何しろ一匹の幼虫が食べる貝は三



公民館活動の様子



グラウンドゴルフ大会



校区運動会



藍染め教室



健康部血圧測定



こどもクッキング



宝木の畑へ行こう

〇〇四〇個といわれ、たくさん
の貝を用意しなければなら
ない。カワニナは野菜を餌
としているが、野菜の確保は
案外大変であり、また生野菜の餌は腐り易く
すぐ水が汚れる等管理が難し
い。けれど昔のようにホタルの
乱舞する村を目指し奮闘中
である。
ホタルが他地区へ発信する
光はまだ弱いものであるが、部
落の活性化・ジゲ興しの確かな
光となることを強く感じた。



ルミナリエ↓ しめ縄作り↑



編集後記

今回は編集の都合上、新年の発行となりました。「公民館だより」はみなさんの協力により成り立っていますが、今年も行事への参加と記事の提供をよろしくお願ひします。